（大正十二年十一月八日第三種郵便物認可）　昭和十四年八月十二日　常磐毎日新聞　〔土曜日〕　第四千五百七十三號　【一】

常磐毎日新聞

八月十一日夕刊

日刊

定價　一部五錢　一ヶ月金四拾錢　郵送共五拾錢
廣告料　普通一行五拾錢　場所指定二行七拾錢
日曜祭祭日の翌日休刊
發行所　常磐毎日新聞社
編集人兼印刷人　坂本忠治
發行人　坂本忠治
印刷所　常磐毎日印刷株式會社
電話　六三〇番
電話　四〇二〇番

壯丁の士氣は
全般的に著しく良好
殊に江名町壯丁が滿点
徴兵檢査終る

既報＝去る一日から平市公會堂で執行された石城郡北部の徴兵檢査は十日の江名町を殿りに全部終了したが檢査成績について徴兵官福本聯隊區司令官は次の如く語つた

全般的に壯丁の士氣はよくなつてゐる、殊に江名町の壯丁は滿點に近い、言語動作總て明朗活潑で戰時下の壯丁に相應しいものとして特に推奨したい、虎眼は相變らず多く間ゆる三等症は他縣に比して多かつたのは返すがへすも遺憾である切に青年の自覺を要望すると共に他面青年指導者は熟考して風紀振作に努めねばならないと痛感した壯丁の士氣動作は鑛山方面が一番劣つてゐた會社當局が時局を認識して積極的に青年教育の徹底を圖つて貰ひたい

イワシ群が早くも來襲
沸き立つ濱景氣
稀有な珍現象

小名、江名兩浜における鰯漁は例年なら九月末から始まるのだが今年は潮流の關係で魚群が七月に入ると早くも宮城縣沖に現れたので目下鹽釜沖漁場に出動毎日三千圓内外の水揚げをするといふ稀有な珍現象を呈してゐるが種類は大羽鰯で値段も例年より十貫につき一圓内外高く濱は素晴らしい景氣に湧いてゐる

中谷裁判長逝く
惜しまるゝ行年六十

平區裁判所監督判事中谷爲吉氏は肺炎のため二ヶ月前から市内櫻町の自宅で療養中であつたが十日午後九時頃遂に逝去された、行年六十、告別式は十三日午後一時から二時迄の間自宅で行はれる

同氏は平支部豫審判事から福島地方裁判所豫審判事更に盛岡地方裁判所部長に榮轉昭和十二年九月平區裁判所監督判事として着任、正五位勳五等高等官三等を以つて遇せられ司法畑に重きを爲した人だけに各方面から惜しまれてゐる

家庭は操夫人(五三)との間に長男芳夫君(二七)外二男二女がある

人夫世話で四千圓詐取

既報、住吉屋本店に泊り込み人夫世話を口實に大沼郡西川村岡村政五郎氏を呼びよせ三百四十圓を詐欺逃走中平署の手配で猪苗代に捕はれた稀代の詐欺犯人岩手縣西磐井郡油島村生れ前科二犯川島一喜(二八)は其後平署で取調べを受けてゐたが

正月下旬北海道天鹽國上川郡士別町某澱粉工場へ雇はれる約束をして前借四百七十圓を騙取そのまゝ逃走した外宮城、秋田と東北地方で十數件約四千餘圓の詐欺を働いたこと判明今十一日平檢事局に送られた

國債消化
平局懇談會

平郵便局では今迄の國債賣行の成績が順調であり將來も一層消化を向上せしむる意圖から十五日午後六時からマルトモホールに於て國債消化に關する懇談會を開き各方面の有志を招いて意見を聽く由

滿洲農業
先遣隊二名

本縣からの第九次滿洲農業移民先遣隊はこの程詮衡の結果三十四名決定されたがこのうち地方關係は上遠野村上遠野鳥平高久村矢吹三夫(二七)の兩君で十五日から九月十四日まで縣立矢吹修練農場で訓練をうけ九月下旬渡滿することになつた

防空演習講評

昨日警防團長に、平署では昨日午後二時から會議室に管内警防團長其他を招集、柴田署長から這般の第二次防空演習

江名漁業組合
革新と新役員

小名濱支局通信

支局長　小野　務平

江名町漁業組合には傳統的に舊套を脱却し得ない潜勢力があつた事は爭はれぬ事實である、先づ中田組合長時代に其潜勢力を植い附けたかとも思はれる位實に牢固たる勢力を保持し他の何者でも之れに革新的雰圍氣を以て臨み得なかつた事は萬已むを得ないと言はねばならぬが中田氏は現職で窺の佐藤德太郎氏(故人)が之れに代つたが理事者としての村幹でなくして一期で退き加澤一造氏が其後任となつて先頃まで何期かを務めた

元來加澤氏にしても漁業組合長としての適材ではなかつた、たゞ其抱擁する財力と石橋を叩いて渡らんとする地味なる點を脱げば一個の田夫野人化する立場の族で決して組合や會社を一絲亂れぬ統制力を保持し得る代表的人物でない事は江名町一萬町民は熟知して居る處であらう、然しながら其處に中田氏が植附けた潜勢力の情勢が佐藤德太郎氏に依つて軟化し更に加澤氏に依つて硬直した力が年々歳々錬磨して愈々新進氣鋭の青年有力家に依つて革新を叫ばしむるに至つたのが過般行はれた役員選擧であつて其結果が江名漁業組合内に勢力を持つた舊型式の人物を第一線から去らしめ眞に漁業組合を背負ひ立つ新人を以て内閣を組織したと云ふのが現江名町漁業組合の革新的役員の改選であつたのである

何時も同じ行き方で四倉にしても、小名濱にしても其傾きがある、そして改善されて現在の四倉なり小名濱なりが眞の組合としての形體を備へて時代の潮流に棹して居る形勢にも不拘獨りに名漁業組合は依然として閥的勢力に支配され依然たる一城廓を築き居る樣に裝つても其内容に於て他の組合とはマラソン選手たる資格は既に蟬の脱殼となつて居つた事に驚愕した新人は茲に雄々しくも革新の烽火を此れが江名漁業組合としての早晩到達すべき經路に依つて時機を早めたに過ぎぬものであらうと斷言出來る

改選と同時に登場された、理事としては黒川喜一郎、白土國治、佐藤鶴松、坂本義信、中田善三郎、太貞造、吉田長兵衛吉田厚、遠藤勝馬の諸氏と、監事としては佐藤德太郎、白土寛治、和深末吉、瀧口正毅、の諸氏であるが何れも新進氣鋭の新人として時代の潮流に棹し得る一騎當千の强者として江名町將來を約束する以上、沈滯に〳〵を重ねず來たり其人事の上には蔽ふべからざる程度に腐爛し來つた今日に於て此等青年層に於て革新途上に就いた事は江名町將來の爲めに大手を擧げて祝福すべき性質のものであると吳人は喜んで措かない處である／

（完）

巡査の試驗

本縣巡査採用試驗は二十日午前八時から縣下各警察署で行はれる、試驗科目は算術、國語、日本地歴、常識で志願者は當日履歴書持參出頭せられたいと

行掛け窃盗

磐崎村長倉坑々夫安達那針道村字大町生れ菅野春雄(三二)は去る七月二十日病氣のため同坑をやめ歸郷の際同僚の池田平さん所有のワイシャツ一枚(價格二圓)を窃取して行つたこと判明平署では直ちに手配捜索中であつたが

同人は一路東京に行き知り合の東京市神田區松坂町菅野林さん方に一泊し歸る際同家の箪笥の中からプラチナ指輪一ケと金メダル一ケ(價格六十圓)と現金五圓餘を窃取して程針道村に歸つたところを二本松署に檢擧された旨十日平署に通知あつた

午前中八萬餘
蠅取の競技

平市の蠅取競技會審査はけふから開始したが成績頗る良く午前中だけで三百七十人が八萬餘の捕獲數を示した、明十二日も續けられる筈

天氣豫報

今晩も明日も南東の風晴一時曇り夕立模樣

波の音を友とし樂しい臨海學校
見違ひる樣な健康色

平第一小學校では体位向上のため磐三以上の希望者を募り二日から新舞子で日歸へり臨海學校を開いたが人員は約百五十名毎日波の音を聞きながら先生も生徒も眞つ裸になつて樂しい授業休憩時間には海に入つたり小巡動會をやつたり從かな日數にも拘らず一同見違へるやうな健康色となり父兄達を喜ばした

煙草耕作組合が植田町に收納所
工費四千圓を投じて十月頃竣工

植田町外十ケ町村から成る煙草耕作組合では植田町に收納所を設置することになり十日着工したが工費は四千圓十月竣工の筈

倘同地方における耕作反別は八百十六人の七十五丁七反七畝二十五歩で成績頗る良好である

煙草耕作會
三

郡煙草耕作組合聯合會では十五日平國休事務所で組合長會議を開く

六號國道
改修猛運動

濱通りの國道六號線改修運動につき青沼平市長はじめ關係町村長等は十四日上京、内務、大藏兩省に陳情する

聖僧袋中上人
郷土の生めるる
大井川幸隆
（十五）

一、結び

以上、袋中上人の經歴に關し大略を記したに過ぎない。種々の都合上、僅か三日間に記述したのであるから全貌を盡し得なかつたことは重々讀者に謝罪して止まぬが、素より略傳ではあり、他日を期して詳說の上一本としたい豫定である。

さて、袋中の八十八才入寂に至る迄の生涯は一身を佛に供し、日課念佛六萬遍、念佛の裡に起き念佛の裡に眠り、念佛の裡に食事し、念佛の裡に働き、念佛の裡に往生した。

織田、豊臣時代より德川時代に至る過渡的な社會の變革期に於て社會の大衆は經濟、思想の不安な狀勢に省面し動搖してゐる時、袋中は萬民の安堵や衣服生活の安らかさは念佛の中にありとの確心を以て汎ゆる教化、汎ゆる著述に盡したのである。吾人の郷土はこの偉大なる傑僧袋中を生んでゐるが、袋中を知らぬ郷土人の不尠あることを遺憾とし、筆者は偶々袋中誕生の地に生れて一傳發表の念默だし難く敢て禿筆を勞したる所以である

（完結）

昭和十四年七月二十日夜

袋中上人遺跡

一、東北地方

○上人の生家石城郡磐崎村大字岩ケ岡御代茂保氏宅

常磐線湯本驛下車、南一里岩ケ岡にあり。

○上人剃髮の地　能滿寺

湯本驛下車南二十五町

磐崎村大字西郷にあり

○上人學業の地　專爾寺

如來寺

常磐線平驛下車東方一里半夏井村大字山崎、同村大字矢ノ目にあり自動車の便あり。

○上人開基の住職地　菩提院

平驛下車東西北十丁平市古鍛冶町にて小岳上にあり

○上人住職（地第十三代）成德寺

常磐線廣野驛西南十五丁双葉郡廣野村折木にあり。

隧道修理中列車で慘死

湯本町土工八卷庄作君(二二)は十日午前八時頃内郷村白水地内傾域トンネル内で修理作業中折柄發進して來た下り列車にはね飛ばされ即死した

猫自殺
病苦の妻

入遠野村大字入遠野折笠一氏妻しげ(四五)は十日午後四時半頃自宅で猫イラズをのみ苦悶中を家人が發見手當を加へたが同夜死亡した原因は病氣を悲觀したものである

田中判事此程歸還
平區裁判

所判事田中宗雄氏は輜重兵伍長として中支戰線で活躍中だつたがこの程歸還された

花地夏祭り

平市字彌宜町花地稻荷神社の夏祭りは今十一日執行

養狸の登錄

平地方の養狸業者に對する登錄制徹底講演會は十日縣

鋪裝を寄附
渡邊村長

村々議久保木保男氏はこの程赫々たる武勳をたて歸還されたがこれを記念するため同村諏訪神社の參道六十米を二百五十圓で鋪裝寄附村民から感謝されてゐる

選炭婦献金
好間

村大字上好間隅田川炭礦選炭婦金成キヌさん外二十六名は毎月給金のうちから献金感激せしめてゐるが今十日七月分ですがと金二圓九十錢を國防費として平署に寄託した

ラヂオ

今晩の部

▼後六、〇〇 子供の時間 お話「海底探檢」海老名謙一
▼後六、二〇 コドモの新聞
▼後六、二五 講演「最近における世界の航空界」工學博士和田小六
▼後六、四五 產業ニュース
▼後七、三〇 國民歌謡
▼後七、四〇 記念講演「中支方面（上海より）」中支方面聖戰第二周年を迎へて」上海海軍特別陸戰隊司令官宍戸好信
▼後八、〇〇 盆踊唄（松江）同盛岡
▼後八、二〇 冷熱を探る 公衆衛生院人口氣候室から農林主事の二宮正義氏出張平後一時から平市公會堂で開かれた
▼後八、〇〇 管絃樂一ベルギュント」日本放送交響樂團
▼後八、四〇 落語「置き泥」春風亭柳枝
▼後九、〇〇 十分間演藝一作「富士登山の報告」横山隆明日待子外

明日の部

▼前六、三〇 健康講座 眼の健康法 醫學博士石原忍
▼前八、〇五 小學生の時間 佐藤憲政
▼前九、四五 幼兒の時間 お話「僕等の出征」上遠野竜兒
▼前一〇、二〇 婦人の時間「上海戰勃發當時の思ひ出」海軍中佐松島慶三
▼後〇、〇五 土曜コンサート
▼後三、〇〇 婦人の時間「婦人として工場に働く體驗」堀口二子
▼後六、〇〇 子供の時間 童話劇「アリとマツ虫」木村和子ほか
▼後六、二五 講演「ナチス獨逸における民族と政治」長濱政蔭
▼後七、三〇 國民歌謡
▼後七、四〇 記念講演（上海より）「中支方面聖戰第二周年を迎へて」上海海軍特別陸戰隊司令官宍戸好信
▼後八、〇〇 盆踊唄（松江）同盛岡
▼後八、二〇 冷熱を探る 公衆衛生院人口氣候室

戰國問答傳

第二十回　女武者（二）

大井沢山　能一郎　作

暑中御伺（一）

磐城炭礦株式會社　所長　菅原萬治郎　副所長　濱崎善三郎

入山採炭株式會社　所長　大貫經次

古河炭礦　好間礦業所　所長　下野十朗　係長　安孫子虎雄

小田吉次　電話三二四番

福島縣會議員　平市會議長　野崎滿藏

銅鐵商　山田文一商店　平市仲町通り　電話二六二番

合資會社　平電氣鑄鋼所　木暮又勝　電話二六番

合資會社　平製作所　電話四一番

新古廢袋買賣　山田廢袋商店　石城郡内郷村字境　電話一九二番

富岡株式店　富岡靖介　平市四丁目　電話二五八番

土木建築請負業　强口唯七郎　營業所　平市田町　電話二八二番

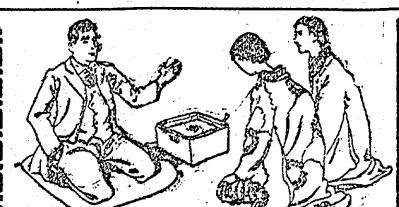
玉屋洋品店　平市田町　電話六五六番

持ちのよい御飯の炊き方

これから御飯が困りがちでございますが、はじめお米一升に對しお猪口に一杯ほどのお酢を入れまして炊き上げますと大變持ちがよいものでございます

飯こなら不合格、その他馬鹿をひきやすい人、馬鹿嬢をとき〳〵起す人、電鈴嬢、嫉妬の中年、トラホーム、カイセン、月經異常などの病氣にはいけませんが、五感とか神經風邪で少し感覺がにぶつてゐる程度や、色盲程度の色彩感覺はさしつかへないと考へます。

今嬢へや嬢だけに折紙がつけられぬ以上、嬢相嬢の紙嬢は完全な嬢嬢をそなへたといはいません、嬢嬢大嬢の嬢嬢に頼めと嬢やせとの嬢嬢嬢伸嬢がさせるために内嬢より一嬢嬢嬢嬢嬢嬢の嬢嬢嬢が必嬢とされるわけです。



大陸花嫁の「結婚條件」

こんな體質は不向き

大陸花嫁になる嬢嬢嬢嬢嬢嬢嬢の立場から仔細に嬢嬢して行くと、本人さへ自覚せぬ嬢嬢嬢嬢につきあたることがあるのです。嬢嬢嬢嬢嬢嬢嬢